



からたち文人の足湯公園では、うなぎのつかみどりや金魚すくい、屋台村、展示などでにぎわった。特に10m四方の巨大プールには、子どもたちでにぎわい、水上チューブの中で楽しそうに転げまわっていた。



同時開催のソーラーボート大会。今年は天候に恵まれなかったが、周回レースやスラロームで熱戦が繰り上げられた。周回レースでは大分県国東市から参加のZ-partyが3連覇した。



な歓声を上げていました。

震災の犠牲者を悼み、1分間の黙とうを捧げました。
まつりでは、例年好評の9人1組でドンコ舟を漕ぐ掘割エイト競漕やウナギのつかみどりで大にぎわい。ビニール製の直径2mの風船に入って水上を歩く水上風船には、順番待ちの子も大にぎわいを作りました。
また、今年の新企画として行った、水上に浮かべた長さ20mのごさの上を駆け抜けタイムを競う水上ゴザばしりや、25mのコースをカヌーで往復しタイムを競うカヌー漕ぎぐつちちゃんにも、子どもから大人までたくさんの参加がありました。
会場の中央に設けられた10m四方の巨大プールは子どもたちに大人気の。プールにはビニール製の円筒状の水上チューブも浮かべられ、中に入った子どもたちは転がるたびに、大きな歓声を上げていました。

今年のまつりの開催をめぐっては、3月11日に発生した東日本大震災の被災地を気遣い、中止してはどうかとの議論が水郷柳川の水の祭典実行委員会でも起こりました。しかし実行委員会は、まつりを盛り上げ、その元気を被災地に届けることを決定。本部が設けられた、からたち文人の足湯公園の中央に、「がんばろう！日本」の文字を染めた大小2本の吹き流しを立てたほか、開会式に先立ち、

水辺に歓声

第4回水郷柳川 夏の水まつり

8月6日と7日、からたち文人の足湯公園前の掘割に歓声が響きました。勝利を喜ぶ声、仲間を応援する声、失敗に思わず上がる声、水の冷たさを喜ぶ声…。水の豊かさに感謝し、水ももたらす楽しさを、存分に味わった2日間になりました。



2回目を迎えた柳川スケールボート・フェスティバル。今年は操縦体験に加え、ボートの人気投票も実施。



開会式に先がけ行われた、やながわ打ち水大作戦2011。暑い夏を、打ち水といった昔ながらの知恵で乗り切ろうと実施。市長をはじめ浴衣姿の水の精2人も会場に水をまいた。



水上競技では、恒例の掘割エイト競漕とカヌー周回レースに加え、今年は水上ゴザばしりとカヌー漕ぎぐつちちゃんが加わり、会場を沸かせた。



水上パレードで幕を開けた2日間のまつり。水上風船やアクアスキッパーなど、思い思いに水辺を楽しんだ。